

平成17年度

第3回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 先進地視察 報告書

- 1 と き 平成17年 7月 5日(火)
 ところ 東京都多摩市 多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場
 午前10時50分から11時50分まで
 東京都東久留米市 柳泉園組合 柳泉園クリーンポート
 午後 2時00分から 3時30分まで

- 2 参加者 15人(委員 11人、事務局 4人)

- 3 視察内容
 ・東京都多摩市 多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場
 ・東京都東久留米市 柳泉園組合 柳泉園クリーンポート

2 参加者名簿

【第3回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 先進地視察 参加者名簿】

出席委員（敬称略）

市 町 村 等	氏 名	備 考
上 田 市	栗 田 たか子	住民代表
東 御 市	宮 原 のり子	〃
長 門 町	岡 角 秀	〃
真 田 町	若 林 まさ夫	〃
武 石 村	金 井 よし男	〃
和 田 村	樋 口 いさお	〃
青 木 村	小 山 敏子	〃
学識経験者	木 口 けんじ	信州大学繊維学部教授 （応用生物科学科）
学識経験者	表 ひでたか	長野大学産業社会学部教授 （工業経営・環境経営学）
上 田 市	外 山 やすし	広域連合議会 総務委員会委員長 （上田市議会議員）
東 御 市	柳 さわむね	広域連合議会 保健福祉委員会副委員長 （東御市議会副議長）

事務局

真田町役場	大久保 はるお	観光商工課 生活環境係 課長補佐兼係長
武石村役場	池 内 かずお	建設環境課 環境衛生係 係長
上田地域広域連合事務局	宮 澤 としふみ	ごみ処理広域化推進室 室長
	塩 入 まなぶ	ごみ処理広域化推進室 主任

先進地視察参加者 15名（委員 11名、事務局 4名）

3 視察内容

視察先の概要

施設名称	多摩清掃工場 (竣工：平成14年3月)	柳泉園クリーンポート (竣工：平成13年12月)
組合構成市	多摩ニュータウン環境組合 (多摩市・八王子市・町田市)	柳泉園組合 (清瀬市・東久留米市・西東京市)
処理対象人口	23万8千人	37万6千人
所在地	東京都多摩市唐木田2丁目1-1	東京都東久留米市下里4丁目3-10
焼却炉形式	ストーカ炉	ストーカ炉
焼却能力	400t/日(200t/日×2炉) 施行：日立造船(株) 平成6年～10年(その1)・ ～14年(その2) C=28,259,900千円 (その1・2)	315t/日(105t/日×3炉) 施行：住友重機械工業(株) (平成9～13年) C=14,400,183千円
リサイクルセンター	90t/5h 選別施設 施行：日立造船・熊谷・今治JV (不燃・粗大ごみ処理) (平成11年～14年) C=5,281,500千円	65t/5h 選別施設 施行：(株)クボタ(平成4～5年) (不燃処理・資源化施設) C=1,215,091千円
粗大ごみ施設		50t/5h 選別・破碎施設 施行：クボタ(昭和49年)(改造：昭和58年 破碎装置、昭和60年 クレーン及びピット) C=422,900千円(合計値)
余熱利用施設	発電能力は最大8,000kwを利用し、「多摩市総合福祉センター」及び多摩市立温水プール施設として「アクアブルー多摩」に熱供給し、余った電力は売電している。	発電能力は最大6,000kwを利用し、浴場施設「湯～プラザ柳泉園」などに利用し、余った電力は売電している。

【多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場】

後藤事務局長、蔵本総務課長、安齋施設課長、宮崎総務係長

(1) あいさつ(表委員長、後藤事務局長)(10時50分)

(2) 概要説明及び質疑応答 後藤事務局長(11時00から11時30分)

項 目	説 明
施設建設に至った経過	昭和43年、多摩ニュータウン建設計画に基づきごみ処理施設を多摩市(当時:多摩町)に建設することが決定した。 第1期施設は昭和48年に稼働し、300トン/日の処理能力を有し暫定的に多摩市が運転管理を行ってきた。 平成5年に一部事務組合が発足し、平成6年から同じ敷地内に建替えを開始。平成14年3月に新しい施設が全て完成した。
地域住民への説明の経過	突然の計画決定だったこともあり昭和43年に地元の落合地区に建設反対協議会が設立され反対運動が起こった。 協議会との交渉の結果、13項目による要望があり、土地区画整理事業による住宅地の供給、都市ガスの供給、公害防止、余熱利用レジャー施設の建設、鉄道駅の設置などを実施することを条件に覚書を取り交わし建設に着手することとなった。
住民との協定	現在、落合地区ごみ対策協議会とは昭和43年に取り交わした覚書以外新たな協定は締結していない。 年1回、協議会と懇談会を実施し施設の運転状況、排ガスの検査結果などについて報告し、施設見学などを実施して理解を得ている。 周辺環境への配慮という点からISO14000を取得し、目標値を厳しく定めて公表し事業を推進している。 また、協議会と先進地視察事業を実施している。
指定袋有料化について	40リットル袋80円(八王子市)で計画中。 有料化については、町田市が今年度、多摩市が来年度に導入予定。 最終処分場が逼迫している状況を受け、ごみ減量を目的として有料化を実施することとした。
情報公開について	環境組合ニュースを発行しさまざまな情報を公開するよう努めている。 ISOについても東京都の様式に基づき年度内には報告書を公表していく計画。
ごみ発生量	リサイクルの徹底、有料化、景気の低迷などの影響で減少傾向にある。 今後の課題として、収集区域の拡大について検討する必要性が出てきている。

最終処分	最終処分については、東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合（構成：東京25市・1町）へ委託。（最終処分場：日の出町） 来年度から灰からセメントをつくる計画（エコセメント）を実施予定。
------	--

（3）施設見学（11時30分から11時50分）

【柳泉園組合 柳泉園クリーンポート】

新井助役、平山参事、山田庶務文書係長、他1人

（1）あいさつ（表委員長、新井助役）（2時00分）

（2）ビデオ、概要説明及び質疑応答 新井助役（2時10分から3時00分）

項目	説明
施設建設に至った経過	旧焼却施設敷地が構成市町村に加入していない東村山市に食い込んでいたため、地元自治会とは、施設を15年で解体し、緑地化する協定を締結した。このため新たな施設建設をしなければならず、隣接する東久留米市内の用地に新たな施設を建設することとした。
住民への説明の経過	現施設の以前は、し尿処理施設であったため、新たな施設建設に当たり、環境アセスメントに伴う説明会を実施。 関係9自治会への説明を行った。6自治会については了解を得られたが残りの3自治会からは了解が得られず建設差し止め訴訟にまで発展してしまった。反対している2自治会とは協定を締結し決着したが、残り1自治会はいまだに反対の姿勢を崩していない。
住民との協定	反対していた2自治会と協定を結んでいる。 内容は公害防止に関する事、情報公開に関する事、定期協議に関する事、施設改修などについての協議などである。 このほか関係9自治会に対し排ガス分析結果、運転状況などについて年2回定期的に報告会を実施している。
隣接する東村山市との協力関係	支援協定を結んでいる。施設の改修などでごみ処理ができない場合、ごみの受け入れをお互いに行えるようにしている。
自治会の反対理由	関係自治体の中心ではなく隣接する自治体の境界に建設してある。 周辺の土地の地価が低下する。 約束を守ってくれないのではないかという不信感がある。

情報公開	関係自治会との協議会は年2回実施。施設管理状況、排ガス分析結果、旧施設の解体進捗状況など。また、事故発生などの場合は、臨時で協議会を開催する。 柳泉園ニュースを年3回発行し情報提供に努めている。
ごみ発生量	減少傾向が続いていた。現在は横ばいの状況。 減少の理由としては、リサイクル、有料化、景気の悪化などが考えられる。
地元の要望	次の建替えは別の場所への声がある。
最終処分	最終処分については、東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合（構成：東京25市・1町）へ委託。（最終処分場：日の出町） 来年度から灰からセメントをつくる計画（エコセメント）を実施予定。

（3）施設見学 （3時00分から3時30分）